

J-SLA ニュース・レター 2014 年 7 月号

時下ますますご健勝のほどお喜び申し上げます。今回のニュース・レターでは、お知らせが 4 点ございます。

お知らせ(1)：2014 年度夏季セミナーについてお詫びと訂正

諸般の事情により、2014 年度夏季セミナーの日程と場所を以下の通り変更します。すでに申し込みをいただいている会員のみなさまには大変ご迷惑をおかけし、ここにお詫び申し上げます。つきましては、再度、ご検討いただき、多くの方のご参加をお待ちしております。

<日時>2014 年 9 月 1 日 13:00 開会 2014 年 9 月 3 日 12:00 閉会

<場所>中央大学野尻湖セミナーハウス

(http://www.chuo-u.ac.jp/campuslife/facilities_guide/chuo_seminar/nojiriko/)

所在地 〒389-1312 長野県上水内郡信濃町富濃 4298-74

電話 026-255-2251

<定員> 30 名（男女それぞれ 15 名）4 人部屋または 5 人部屋の予定です

<申込締め切り> 2014 年 7 月 31 日（木）ただし、定員になり次第締め切ります。

<費用>一般（会員）13,000 円 学生（会員）10,000 円

一般（未入会者）18,000 円 学生（未入会者）13,000 円

<交通>東京方面からは貸し切りバスを出す予定です。（別料金）

<セミナーテーマ>

『みなさんはどんな研究をしてらっしゃるんですか？』

<主な内容>

プレゼンテーションとディスカッション(1)

「科学的アプローチによる SLA 研究の面白さと限界」

プレゼンテーションとディスカッション(2)

「2014 年度年次大会の発表を振り返り、新たな研究シーズを探る」

- 研究発表を募集します(口頭発表およびポスター発表)。研究途中のものでもかまいません。修士論文、卒業論文などサマーセミナーで発表して、いろいろな視点から SLA を研究している人たちから様々な有益なコメントが得られます！院生のみなさん、学部生のみなさんの積極的な参加をお待ちしています！
- 開催場所、料金設定、内容に関しましては、J-SLA ホームページ (<http://www.j-sla.org/index.html>)をご確認いただきますようお願いいたします。
- ただ今、J-SLA ホームページから申し込みを受け付けております

お知らせ (2) : 学会誌 *Second Language* への投稿募集

学会誌 *Second Language* 14 号(2015 年度)への論文を募集しております。投稿締め切りは 8 月末日です。ふるってご投稿ください。

お知らせ (3) : 2015 年度 J-SLA 年次大会での発表募集

来年度の大会は2015年6月6日(土)・7日(日)に広島大学で開催予定です。つきましては、口頭発表、ポスター発表、およびワークショップでの発表を募集いたします。ふるってご応募ください。募集要領は以下の通りです。

★「口頭発表」または「ポスター発表」について（「学生ワークショップにおける口頭発表」については、この下をご覧ください。）

1. 応募資格

応募者は、2015 年 6 月 6 日の時点で J-SLA の会員でなければならない。ただし、共同発表者については、会員でなくてもよい。

2. 募集する研究の領域

第二言語習得の理論的・実証的研究

（当学会の HP（<http://www.j-sla.org/>）の学会発足の趣旨を参照してください。）

3. 申し込み方法

発表要旨を電子メールで送付する（書式に関しては 9 を参照してください。）

件名は「J-SLA2015 abstract」とする

送付先：shunjiL2@yahoo.co.jp（稲垣 俊史）

発表要旨は、必ず以下の二点を添付ファイルでお送りください。

① 指定の書式に従った発表要旨を **WORD** のフォーマットで保存したもの

② 指定の書式に従った発表要旨を **PDF** で保存したもの

（不備がある場合、審査に時間を要し結果報告などが遅れることにもなりますので、必ず両方をお送りください。）

4. 締め切り

2015 年 2 月 14 日（土）

5. 発表要旨受け取り確認のメールについて

担当者に電子メールにて発表要旨を添付ファイルで送付した場合、一両日中に担当者から受け取りメールが来ることになっています。万が一、受け取りのメールが来ない場合は、お手数ですが速やかに担当者までご連絡ください。誤って迷惑メールとして処理されてしまうことがあるかもしれませんので、よろしくお願いします。

6. 審査結果の発表

2015 年 2 月末ごろまでに、本人にメールにて報告する。

7. 口頭発表の時間について

口頭発表は 20 分で行うこととし、その後に 10 分間の質疑応答の時間を設ける。

8. 使用言語：日本語または英語

9. 要旨の書式（不備がある場合、審査結果が遅れる原因にもなりますので、必ず以下の書式に従

ってください。)

- (1) 英語のフォントは Century 10.5 pt、日本語のフォントは MS 明朝 10.5 pt を使う。
- (2) 発表の言語と要旨に使用する言語を同一にする。
- (3) 要旨の長さについては、日本語の場合には 1600 字以内、英語の場合には 1000 words 以内とする。なお、図や表を加えてもよいが、最終的な原稿が A4 で 2 枚に収まるようにする。
- (4) 以下のイ～ハの内、いずれを希望するかを要旨の右上に明記する。
 - イ. 口頭発表のみを希望する。
 - ロ. ポスター発表のみを希望する。
 - ハ. 口頭発表を希望するが（選考の結果）口頭発表できない場合には、ポスター発表を希望する。
- (5) タイトルを、要旨の最初の部分に記入する。
- (6) 審査を無記名の状態で行うため、要旨には氏名を記入しない。
- (7) 「要旨」の最後の部分に、それぞれの長さ（日本語の場合：文字数、英語の場合：語数）を記入する。
- (8) 添付ファイル送付の際、電子メールの本文に以下のことを明記する。
 - *氏名（日本語）*氏名（英語）*所属（日本語）*所属（英語）
 - *郵便番号 *住所 *電話番号 *電子メールアドレス
 - *発表言語（日本語か英語のいずれか）

10. 応募と発表に関する注意事項

- (1) 二重投稿は認めない。
- (2) 未発表のものに限る。口頭発表、ポスター発表のいずれにも代理発表は認めない。
- (3) 「口頭発表」は、個人研究・共同研究に関わらず、応募者ひとりについて一件とする。ただし、「ポスター発表」、「学生ワークショップ」（学生会員のみ）への同時応募はさまたげない。その場合、発表内容は異なること。

★「学生ワークショップにおける口頭発表」について

学生ワークショップは、第二言語習得研究を行っている大学生・大学院生のためのワークショップで、大会第 1 日目の午前中に行います。このワークショップは、なるべく多くの人に発表してもらうため、いくつかのセッションを並行して行います。また、各セッションにはその分野の専門の研究者が参加して、助言を行います。発表内容は、現在進行中の研究についてでも構いません。他大学の学生との意見交換を通して、研究の幅を広げましょう。

1. 応募資格

応募者は、2015 年 6 月 6 日の時点で J-SLA の学生会員でなければならない。ただし、共同発表者については、会員でなくてもよい。

2. 募集する研究の領域など

第二言語習得の理論的・実証的研究（学会発足の趣旨を参照してください。）現在進行中の研究でも構いません。

3. 申し込み方法

発表要旨を電子メールで送付する（書式に関しては 10 を参照してください）。

件名は「J-SLA2015 abstract」とする。

送付先： shunjiL2@yahoo.co.jp（稲垣 俊史）

発表要旨は、必ず以下の二点を添付ファイルでお送りください。

① 指定の書式に従った発表要旨を **WORD** のフォーマットで保存したもの

② 指定の書式に従った発表要旨を **PDF** で保存したもの

（不備がある場合、審査に時間を要し結果報告などが遅れることにもなりますので、必ず両方をお送りください。）

4. 締め切り

2015 年 2 月 14 日（土）

5. 発表要旨受け取り確認のメールについて

担当者に電子メールにて発表要旨を添付ファイルで送付した場合、一両日中に担当者から受け取りメールが来ることになっています。万が一、受け取りのメールが来ない場合は、お手数ですが速やかに担当者までご連絡ください。誤って迷惑メールとして処理されてしまうことがあるかもしれませんので、よろしくお願いします。

6. 審査結果の発表

2015 年 2 月末ごろまでに、本人にメールにて報告する。

7. 口頭発表の時間について

口頭発表は 20 分で行うこととし、その後に 10 分間の質疑応答の時間を設ける。

8. 使用言語：日本語または英語

9. 代理発表は認めない。

10. 要旨の書式

- (1) 英語のフォントは Century 10.5 pt、日本語のフォントは MS 明朝 10.5 pt を使う。
- (2) 発表の言語と要旨に使用する言語を同一にする。
- (3) 要旨の長さについては、日本語の場合には 1600 字以内、英語の場合には 1000 words 以内とする。なお、図や表を加えてもよいが、最終的な原稿が A4 で 2 枚に収まるようにする。
- (4) 要旨の右上に「学生ワークショップにおける口頭発表希望」と明記する。
- (5) 日本語と英語のタイトルを、要旨の最初の部分に記入する。
- (6) 要旨には氏名を記入しない。
- (7) 「要旨」の最後の部分に、それぞれの長さ（日本語の場合：文字数、英語の場合：語数）を記入する。
- (8) 添付ファイル送付の際、電子メールの本文に以下のことを明記する。
*氏名（日本語） *氏名（英語） *所属（日本語） *所属（英語）
*郵便番号 *住所 *電話番号 *電子メールアドレス
*発表言語（日本語か英語のいずれか）

<問い合わせ先>

J-SLA 事務局 柴田 美紀 shibatam@hiroshima-u.ac.jp 電話: (082)424-6430

お知らせ(4)：秋の研修会

場所：関西学院大学 梅田キャンパス 1004 教室 (10F)

日時：2014 年 10 月 19 日(日)

受付 9:30 ～

講演 1 10:30-12:00 松尾歩氏 (神戸女学院大学)

「追試法を使った動詞習得の研究について」

講演 2 13:30-15:00 楠本紀代美氏 (関西学院大学)

「Type Theory and Quantification」

講演 3 15:15-16:45 岸本秀樹氏 (神戸大学)

「統語構造の日英比較」

参加費：1,000 円

Newsletter July, 2014

Time flies! We are now in July, feeling summer is approaching! Meanwhile, we cannot wait for the end of the rainy season in Japan. The July newsletter gives you information about a change of schedule and site for Summer Seminar 2014, manuscript submission for *Second Language Vol. 14*, abstract submission for J-SLA 2015 and Autumn Research Forum 2014.

(1) Summer Seminar 2014: change of date and place

Due to the various circumstances, we need to change the schedule. Please accept our apologies for the inconveniences our changes caused. The new date and site are as follows:

Date: September 1 (Mon) – 3rd (Wed)

Site: *Nojiriko* Seminar House (Nagano prefecture)

(http://www.chuo-u.ac.jp/campuslife/facilities_guide/chuo_seminar/nojiriko/)

Application deadline: July 31st (Thu)

*We can accommodate a fixed number of participants: we will not accept more than 30 registrants this year. Please note that once the number of participants reaches 30, registration will close immediately, even before the deadline.

Fee: 13,000 yen for regular members; 10,000 yen for student members; 18,000 yen for non-members; and 13,000 for students who are not members

- The bus service will be provided for those who are coming from Tokyo area. Please be aware that the transportation is not included in the fee.
- We now accept oral presentations on research including work-in-progress. We strongly encourage both undergraduate and graduate students who have been working on their theses to present their work. This would be a great opportunity to receive useful comments from other participants.
- All details including fees should appear on our website (<http://www.j-sla.org/index.html>) soon.
- Registration for the Summer Seminar is now open. Please visit the website for further details.
- All those who wish to register for the Summer Seminar must apply online.

(2) Article submission to *Second Language Vol. 14*

We invite manuscripts on empirical and theoretical research for *Vol. 14*. Please submit your manuscript as an attachment via e-mail. All submissions must conform to our guidelines for contributors (available online).

(3) Call for papers for J-SLA2015

The annual conference J-SLA 2015 will be held at Hiroshima University on June 6 and 7. Now we invite abstracts for oral presentation and poster presentation and encourage students to submit the abstract for Student Workshop. Please refer to the submission guidelines presented below:

- =====
- (1) Dates: June 6 & 7, 2015
 - (2) Place: Hiroshima University (<http://www.hiroshima-u.ac.jp/index-j.html>)
 - (3) Plenary speaker: Dr. Holger Hopp (English Linguistics University of Mannheim, Germany)
 - (4) Academic areas:

Abstracts are invited for papers or poster presentations on any theoretical or empirical area of research in second language acquisition (SLA).
 - (5) Presentations:

Oral presentation of papers will be allotted 30 minutes (20 minutes for presentation, followed by 10 minutes for discussion).
 - (6) Deadline for receipt of abstracts: February 14, 2015
 - (7) Notification of acceptance: February 28, 2015
 - (8) Abstract submission procedure:
 - a. The length of the abstract should not exceed 1,600 characters in Japanese or 1,000 words in English.
 - b. Submissions for papers and posters should be formatted in 10.5 pt Century in English or 10.5 pt MSMincho in Japanese.
 - c. Please submit your abstract as both Word and PDF documents attached to an email.
 - d. Please note whether you are willing to participate in the poster session should your paper not be accepted for oral presentation.
 - e. Please write “J-SLA2015_abstract” in the subject line including the following (in this order) in the body of the message:
 - 1. your name
 - 2. affiliation (in both native language and English and)
 - 3. address
 - 4. telephone number
 - 5. e-mail address
 - 6. type of proposal (Student Workshop*, paper, poster)(In case of dual submissions, please refer to (9e) below regarding abstract submission.)
 - 7. language to be used for presentation (i.e., Japanese or English)
 - f. Please submit abstracts as an e-mail attachment to the following e-mail address: shunjiL2@yahoo.co.jp (Shunji Inagaki)

*A Student Workshop will be held the morning of June 6, 2015. We plan to schedule parallel sessions to accommodate as many presentations as possible. The time allotted for each presentation is 20 minutes, with an additional 10 minutes for discussion. At least one expert in the area will attend each session to promote discussion and to provide advice. Presenters should be student members of J-SLA (see (10a) below). Work-in-progress is welcome.

(9) Notes regarding abstract submission:

- a. Figures and tables are not counted as part of the word limit but should be included in the abstract. The total length of the abstract should not exceed two A4 pages.
- b. Include the title of the abstract at the top and the number of characters (if written in Japanese) or word count (if written in English) at the bottom.
- c. Do not put name(s) of author(s) on abstracts, as they will be sent out for blind review.
- d. Submission of an abstract for oral presentation is taken to imply that it has been neither previously presented nor published elsewhere.
- e. Authors may submit only one abstract for consideration as a paper for oral presentation. This limit holds for all authors regardless of their status as primary or secondary author. Additional submissions for the Student Workshop or for poster presentations are also permitted as long as the contents of each submission are not the same.

(10) General notes

- a. All presenters must be members of J-SLA at the time of the conference; it is not necessary for co-presenters to be members.
- b. Information on joining J-SLA may be found at the following website:
<http://www.j-sla.org/e/index.html>
- c. The language of presentation may be either Japanese or English.
- d. No substitute presenters will be allowed.
- e. Regrettably, no financial support for transportation and accommodation will be offered.

For inquiry and more information, please contact Miki Shibata (J-SLA Secretariat) at shibatam@hiroshima-u.ac.jp.

(4) Autumn Research Forum

Place: Kwansei Gakuin University • Umeda campus, Room 1004 (10th floor)

[NB: This is a different campus from where the J-SLA 2014 annual conference was held]

Date: October 19 (Sun)

Registration 9:30 ~

Lecture 1 (10:30-12:00) Professor Ayumi Matsuo (Kobe College)

Lecture 2 (13:30-15:00) Professor Kiyomi Kusumoto (Kwansei Gakuin University)

Lecture 3 (15:15-16:45) Professor Hideki Kishimoto (Kobe University)

Fee : 1,000 yen for both members and non-members

*No pre-registration is required.